

令和5年12月18日
こども青少年・教育委員会
こども青少年局

横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例に基づく 令和4年度の実施状況について

1 脱炭素社会の形成の推進に関する施策の実施状況について 2

【掲載取組】

基本方針名	報告書 掲載頁
(1) 基本方針6 市役所の率先行動	37頁
(2) 基本方針7 気候変動の影響への適応	60頁

1 脱炭素社会の形成の推進に関する施策の実施状況について

(1) 基本方針6 市役所の率先行動 局・統括本部ごとの取組実績等

こども青少年局

- 2021(令和3)年度の温室効果ガス排出量は、2013年度比 22.9%減の 0.5 万トンとなりました。
- 2022(令和4)年度のエネルギー消費量は、2013年度比 12.7%減の 110TJとなりました。
- 2022(令和4)年度は、市立保育所や児童相談所等で LED 等高効率照明を導入し、LED 化率は 49%となりました。
- 一部の市立保育所など 4 施設において太陽光発電設備を導入しています。
- 一般公用車 21 台のうち、2022(令和4)年度は新たに3台の次世代自動車等を導入し、割合は 52%となりました。
- 移設に向けた整備を進めている南部児童相談所には、消費電力の一部を賄うため、屋上に太陽光発電設備を設置します。
- 職員の取組として、局内の会議においてプロジェクターやディスプレイを活用することで、紙の使用量を削減し、ペーパーレス化を推進しました。また、WEB 会議の実施や全職員を対象とした環境研修の受講、グリーン購入の推進に取り組みました。

<温室効果ガス排出量の状況> (単位:万 t-CO₂)

基準年度 (2013)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	
	実績	実績	実績	増減率 基準年度比
0.66	0.51	0.52	0.50	▲22.9%

<エネルギー消費量の状況> (単位:TJ)

基準年度 (2013)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	
	実績	実績	実績	実績	増減率 基準年度比
126	109	112	107	110	▲12.7%

<公共建築物の新築・改修等における取組(LED 等高効率照明の導入状況)>

全灯数 (2022 年度)	LED 等高効率照明の導入割合の推移			
	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
24,999	20%	28%	47%	49%

<再エネの導入拡大に向けた取組(太陽光発電設備の導入状況)> 設置済施設数(2022 年度)：4 施設

<公用車における取組(一般公用車における次世代自動車等の導入状況)>

一般公用車の 台数 (2022 年度)	次世代自動車等の導入割合の推移			
	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
21	35%	40%	40%	52%

※2022年度の次世代自動車等の台数 EV:1台、PHV:0台、FCV:1台、HV:9台

(2) 基本方針7 気候変動の影響への適応

取組実績、今後の取組

3 熱中症・感染症等分野の適応策の推進

- 保育所や放課後児童健全育成事業所、放課後等デイサービス、児童養護施設、地域療育センター、青少年関係施設などの所管施設に対して、熱中症の注意喚起の連絡を行いました。放課後キッズクラブでは、一部の事業所でエアコンの更新・増設を実施しました。